

目次

時宜に適す……………長尾満…1
 第200号を祝して……………斎藤義治…2
 思い出すままに……………河上房義…4
 「建設の機械化」第200号によせて……………6
 「建設の機械化」第200号記念懸賞論文審査評……………伊丹康夫…13
 (「建設の機械化」第200号記念懸賞論文)
 建設機械用エンジンオイルの研究……………竹田策三…15
 建築工事における機械化施工の現状と将来の展望……………稲垣義雄…21
 [座談会] “建設の機械化”誌に望む……………機関誌編集部…28
 山陽新幹線の計画……………斎藤徹…33
 川崎市水道導水路工事におけるトンネル掘削機の選定……………岩尾正満…37
 [座談会] アスファルトプラントをめぐる……………機関誌編集委員会…43
 J.C.M.A 欧州視察団報告……………三谷健…51

グラビヤ—欧州視察団報告から

[建設業のモータプールめぐり] (その3)

V. 清水建設のモータプール……………高木三郎…59
 VI. 大成建設のモータプール……………坂口忠…62
 [建設機械化講座] 第43回 現場フォアマンのための土木と施工法
 XI. くい基礎工法 (その9)

4. 現場ぐい基礎工法 (4)……………林茂樹…65

[建設機械化研究所抄報]

試験研究報告 (No. 20)……………建設機械化研究所…75

[文献調査]

酸化触媒ガス清浄器による鉱山の換気コスト低減……………施工部会…79
 文献調査委員会

化学的安定処理工法……………施工部会…80
 文献調査委員会

ニュース……………(編集部)…81

会員消息……………82

行事一覧・編集後記……………(環・石川・河内)…84

◇表紙写真説明◇

“建設の機械化”誌の変遷

“建設の機械化”誌は昭和24年3月設立された建設機械化協会の機関誌として同年7月創刊されたもので、建設機械ならびに機械化施工の研究・普及・宣伝・啓蒙を目的として意欲的な活動を開始した。同25年5月同協議会を発展的に解消し、現在の社団法人日本建設機械化協会が誕生するとともに本協会の機関誌として第7号から引継がれ、その後、新発足にふさわしい形態が採用され、内容的にも権威ある学術誌として成長し、今日に至っている。

本号の表紙写真は第200号発刊を記念し、これら変遷を既刊表紙によって象徴的にデザインしたものである。

創刊号 (昭24.7.1)	タブロイド判新聞形式
第10号 (昭25.9.11)	創刊号より第6号まで建設機械化協議会によって発行 第7号より(社)日本建設機械化協会の機関誌となる 無料配布
第11号 (昭25.10.24)	B5判パンフレット形式
第20号 (昭26.8.25)	昭和26年6月5日第3種郵便物認可 無料配布
第21号 (昭26.9.25)	本号よりB5判雑誌形態となる 定期刊物物として有料配布 表紙写真入り色表紙となる
第100号 (昭33.6.25)	第100号記念特集として懸賞論文を募集
第111号 (昭34.5.25)	本号よりグラビヤ頁を設ける
第167号 (昭39.1.25)	表紙カラー写真となる
第170号 (昭38.4.25)	建設機械化講座を新設
第200号 (昭41.10.25)	第200号記念特集として懸賞論文を募集